

代表質問の要旨

質問を行った会派

- 明政会
- 市政敬和会
- 市民派連合
- 市政同志会
- 新和会
- 日本共産党

※本文は質問者自身の原稿によるものです

明政会

質問者 古厩 圭吾

青柳喜美男・塩原政治
五味東條・野村みなを

質問時間60分

◆事業部に問題はないか

問 不祥事の多発は事業部制の弊害ではないか。

答 副事業部長を横の連携役に横断的な意識改革を進めている。今後も事業部制を充実させていく。

◆戸籍事務システムの他市との比較

問 他市とのシステム上の大きな相違点は何か。

答 「戸籍事務の電算化」と「還付金処理」にあり、19年4月を目途に全面改善を進めている。IT化で今回の様な戸籍捏造は防げるものと考えている。

◆中心市街地活性化での説明は充分か

問 飛び込み市民会議は所期の目的を達成したか。

答 まちづくり協議会の集約を元に、市民総参加の市政を目指し、内容を進化させてきた。今後もこのような対応を続けて行きたい。

「常設型」

投票条例

明言避ける

◆「常設型」へ「情報提供」に課題

問 常設型住民投票条例への市長のスタンスはどうか。

答 間接民主主義を補完する手法として、研究している。基本的には従来と変わらない。市民の判断材料たる「情報提供」が難しい点」が問題だ。

◆図書館は「単独」か「複合」か

問 単独図書館は考えられないか。複合がベストか。

答 財政面の配慮とともに、「町寂れて図書館あり」は自分の信念ではない。

◆再開発事業調査計画作成で補正

問 500万円の補正予算提出は事業の見切り発車か。

答 活性化策への補助を得るためで、ご理解いただきたい。

◆玄関口は街の顔

問 塩尻の顔とは何か。

答 「田園」であり、大門、広丘等人口の半分が住む「都市部」でもある。玄関口は街の顔であり「田園と都市の調和」が私の哲学である。

◆持続可能な都市づくりへ

問 コンパクトシティ構想は塩尻市の実情に合うか。

答 街づくりが、少子化時代を迎え、郊外進出規制の時代に入った。中心地の再生を図り、個性ある街づくりを進める。量から質への時代を反映した、持続可能な都市づくりを目指したい。

◆中信地域との新しい連携は

問 新上市との連携と中信の均衡ある発展への展望は。

答 広域全体の一体化が必要だ。広域境でもある地理的優位性を生かし、広域圏を結び付ける努力をして行きたい。

◆三位一体改革の影響は

問 三位一体の改革は我が市にどのように影響するか。

答 差引9千万円の税源不足が予想され、自治体の力量が問われると認識している。

◆特別債適用基準は

問 新体育館要望があるが、合併特別債の適用基準は何か

答 合併後の一体性の確立・均衡ある発展・公共施設の総合整備の3点である。

◆住宅耐震診断の状況は

問 市内木造住宅の耐震診断の進捗状況はどうか。

答 258戸が終了の時点で、安全との評価は9%未満である。